

令和4年度

# 津波防災地域づくり 講演会 @ 稚内

参加無料

定員300名

定員に達した場合は  
募集を締め切りします

～巨大津波想定にどう向かい合うか～

日時

令和4年10月14日(金)

10:00～11:30 [開場9:30～]

場所

サフィールホテル稚内(大宴会場 鳳)

稚内市開運1丁目2番2号

北海道南西沖地震被災状況(青苗地区)

写真提供: (株)シン技術コンサル

東日本大震災では、マグニチュード9.0という日本周辺における観測史上最大の地震規模であったことに加え、巨大津波により多大な被害が発生し、2万人を超える死者・行方不明者のうち9割以上が津波に巻き込まれたことによるものでした。7月28日に北海道が公表した日本海溝及び千島海溝沿いを震源とする巨大地震の被害想定では、津波や揺れによる死者数が最大14万9千人及ぶとする一方で、早期避難などの防災対策により人的被害を大幅に抑えられると推計されました。

地震、津波はいつ、どのような形で起こるかを予測することが難しいため、津波が想定される地域では、日頃から防災や減災、避難について意識し、対策を講じておくことが必要です。

この講演会は11月5日の「津波防災の日」を前に、「巨大津波想定にどう向かい合うか」と題し、災害情報学・災害社会工学を専門とされる片田敏孝氏からお話しいただきます。防災や減災に対する意識を継承すべく、若い世代を対象とした内容の講演を予定していますので、防災関係者はもとより、多くの皆様の参加をお待ちしております。

## プログラム

- 9:30 ..... 開場・受付
- 10:00 ..... 開会
- 10:00 ..... 開会あいさつ 北海道建設部長
- 10:05～11:25 ... 講演「巨大津波想定にどう向かい合うか」 片田 敏孝 氏
- 11:25 ..... 閉会あいさつ (一財)北海道建設技術センター理事長
- 11:30 ..... 閉会



## 講師プロフィール

**片田 敏孝 氏** 東京大学大学院情報学環 特任教授  
(かただ としたか) 日本災害情報学会 会長



専門は災害情報学・災害社会工学。  
災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に防災教育については、地域防災と連携した育みの環境とらえた活動を展開している。また地域防災については、地域の災害文化として、災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の地域での定着を図ってきた。これら一連の活動が認められ、平成24年には防災の功労者として内閣総理大臣表彰を受賞、さらに同年海洋立国日本の推進への功労者としても、内閣総理大臣表彰を受賞している。また平成26年には皇居に招かれ天皇皇后両陛下にご進講もしている。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたり、主なる学会活動として、日本災害情報学会会長、日本自然災害学会理事がある。

## 当会場における新型コロナウイルス感染予防対策について

### 【会場内での感染予防対策】

- ・会場入口等での検温、手指消毒用の消毒液を設置します。
- ・会場の十分な換気を行います。
- ・間隔を空けた座席配置をします。

### 【来場者へのお願い】

- ・ウィルス感染の可能性のある方、体調の優れない方は来場をお控えください。
- ・来場時のマスク着用及び咳エチケットの励行にご協力願います。
- ・来場者同士の間隔確保にご協力願います。
- ・会場入場時の手指消毒及び検温にご協力願います。
- ・会場内における会話はお控えください。



北海道スタイル